

市民ワークショップの報告

第1回市民ワークショップが開催されました！

教育委員会では現在、「泉大津市教育振興基本計画」の策定作業を進めています。

この内容の検討にあたって、市民のみなさんにも参画いただく機会を設け、できるだけ多くの御意見、お考えを反映させていきたいと考えています。

第1回市民ワークショップは、7月30日に泉大津市役所職員会館3階で開催し、総勢17名が参加しました。



ワークショップは、3回開催する予定で、第1回目は、「地域が学校に関わる上での課題とは何か」を問題意識とした5つのテーマに分かれ、普段感じている問題意識などについて意見出しを行いました。



市民のみなさんから次のとおり意見がありました。

課題	市民の声
登下校における危険から子どもたちを守る	<ul style="list-style-type: none">・防犯カメラが有効だが、プライバシーも考慮する必要がある・中学生の場合は時間帯が広範囲なので人が見守るのは難しい。・学校で登下校中の危険体験シミュレーションを行い、危機感を持ってもらう方法はどうか など
放課後の学習支援	<ul style="list-style-type: none">・泉大津市の学習支援は充実している・すこやかネット3中学分の行事をあわせると年間3×3=9つの行事になる。関わっている市民は忙しくこれ以上は難しいのではないか・小学校の校区を出るなという指導には疑問。子どもの情報交換の場「だがしや」が少ない。 など
市民が生涯学習で学んだことを地域で生かす	<ul style="list-style-type: none">・高齢者と子どもの接点の場を設ける。そのために、小学校での恒例行事を発展させる・行政が異年齢層の生涯学習を学べる場を提供する など
部活動・学校行事への市民参加	<ul style="list-style-type: none">・部活指導の支援をすると責任の問題が生じる・泉大津では「よみがたり」のボランティアは広がっている・PTAの引き継ぎ、なり手がいない・悪い事を苦情で言うだけでなく、良い事を学校に伝える→これも市民参加の一つではないか など
子どもが職業に対するイメージを持つための支援	<ul style="list-style-type: none">・強制的に職業体験の場を決められるから、行っても興味が湧かない・出前授業をもっと広めたらよい・もっと未知の職業に触れさせる必要がある など

今回は、「課題から考えられる解決策」をテーマに、8月21日19時から開催します。